

平成28年 3月 18日

徳島県内小学校各位

徳島大学埋蔵文化財調査室長

端野 晋平

出張講義のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本調査室は、これまで本学構内埋蔵文化財の調査・研究と、その成果の公開を行ってまいりました。現在、文化財の活用事業の一環として、徳島県内の小学校を対象とした出張講義をご案内しています。過去に実施したケースでは、本調査室所属教員が、大学構内遺跡から出土した弥生土器や石器を持参し、それに関する解説を行ってから、生徒に実際に触れてもらいました（別紙参照）。

日程、講義の内容や方式などの詳細については、ご相談に応じます。下記のお問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

謹白

記

【お問い合わせ先】

徳島大学埋蔵文化財調査室（担当：端野）

〒770-8503

徳島県徳島市蔵本町2-50-1

Tel&Fax：088-633-7236

Eメール：s_hashino@tokushima-u.ac.jp

公式HP：http://tokudaimaibun.jp/

以上

○過去に実施した出張講義の例（2006年4月加茂名小学校6年生）

【講義の流れ】

1. 加茂名小学校の近くには弥生時代の遺跡がいっぱい
2. 弥生時代の暮らし
3. 日本人の暮らしの変化
 - ・弥生時代は日本人の暮らしが大きく変わった時期
 - ・暮らしが変わった原因は何？
4. 石器・土器をさわってみよう
 - ・石庖丁（収穫の道具）
 - ・紡錘車（糸をつくる道具）
 - ・石斧（石のオノ）
 - ・土器一壺（蓄える）・甕（炊く、蒸す）・高杯（盛り付ける）



最初に資料で弥生時代の簡単な解説を行いました。



弥生土器を手に持って説明をしています。



実際に土器に触って、過去の人びとの知恵と暮らしを理解してもらいました。